

過疎だけどにぎやかな町。斬新なチャレンジを歓迎し、応援する寛容さにあふれ、様々な人がこぞって集う、活気ある町。

新しい時代の中でも決して埋もれることなく、小さいながらもキラリと光る存在でありたい。

新しいまちづくりの合言葉、「にぎやかそ」にはそんな思いが込められています。

みんなが笑顔で夢を語れる町を目指して取り組む、美波町の地方創生を紹介します。

全国初！中学生のデュアルスクールも、スタートは美波から。

デュアルスクール制度を活用して、2週間(12月9日～20日)美波町に滞在し、日和佐中学校2年生のクラスで学んだ東京都在住の神社水鈴(かんじゃ みすず)さん。

神社さんは昨年7月に父親が美波町に移住。そのことをきっかけに、夏休みを利用して初めて美波を訪れました。その際に美波の豊かな自然に触れ、川遊びや野山の散策などを楽しんだことですっかりこの町のファンになり、今回のデュアルスクール体験によって、“憧れの美波暮らし”が実現したのだそうです。

デュアルスクール初登校時には、「大浜海岸や太平洋がすごくきれい！これから毎日この風景を見ながら通学できるなんて本当に贅沢！」と、笑顔で語ってくれました。

2016年10月に日和佐小学校で行われた全国初の実証実験以来、美波町では8回目となるデュアルスクール。徳島県はもちろん、全国的にも初めての中学生による実施例となりましたが、その中でも特に印象的だったのが日和佐中生の素晴らしい対応です。心細くはないか、困ったことはないかと積極的に話しかける他、様々な場面で見られた細やかな気遣いは、さすが、小学校時代からデュアルスクールに慣れ親しんできた美波の子ども達！といったところでしょうか。初日、全校生徒への挨拶ではかなり緊張したという神社さんも、級友達の温かな気配りのおかげか、その後は放課後まで笑顔を絶やすことなく、楽しく過ごせたそうです。

12月20日の最終日には、早くも次の美波訪問に思いを馳せていた神社さん。都市部と地方、普段は異なる環境で暮らしている彼らが、デュアルスクールを通してともに中学生生活を謳歌する、かけがえのない仲間となっていく様子は本当に感動的でした。



登校初日には校長先生と一緒に全校生徒へ挨拶。



登校初日の1時間目は自己紹介を兼ねたレクリエーションゲームを行いました。(写真右から2番目が神社さん)



「美波町の魅力を知ろう」という総合学習。生徒達が提案した大岩をはじめ、大浜海岸や恋人岬を散策しました。(写真中央が神社さん)

お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階

由岐地区：由岐ふれあいホール(ぼっぼマリン2階)